

## 第37回 グループホーム 優和の郷・信 運営推進会議記録

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に伴い「令和5年8月22日開催予定の運営推進会議」は中止とさせて頂き、運営推進委員には会議資料を配布致しました。

前回からの 継続課題		(無) ・ 有					
活 動 報 告	利用者状況	① 利用者数 15名 待機者(男性1名、女性0名) 入居(7月:0名、8月:0名) 退去(7月:1名、8月:1名) 入院(7月:2名、8月:1名) ② 要介護度状況(入居者数15名)					
		要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	葵	-	2名	3名	2名	-	-
	藤	-	2名	1名	5名	-	-
	合計	-	4名	4名	7名	-	-
	利用者 活動状況	7月			8月		
		葵、藤	別紙参照		葵、藤	別紙参照	
	その他活動	7月:誕生会、ふまねっと 8月:夏祭り、ふまねっと					
	スタッフ関係 (研修など)	参加日	研修名		研修先	参加者	
		7/5	認知症介護実践者研修		札幌	澤渡 洋子	
		7/19	認知症介護実践者研修		札幌	佐藤 美咲	
		7/19	BCP 作成セミナー (地震編)		リモート研修	佐藤 未来	

		発生日時	事故内容
事故発生件数 (4件) ヒヤリハット 含む	藤	7/15(土) PM8:25 要介護3 女性	<p>&lt;状況&gt;</p> <p>居室にて他入居者の介助中に廊下からX号室の入居者の声が聞こえX号室を訪室すると居室の電気は消えており、点灯すると床にうつぶせの状態に倒れている当該入居者を発見しました。</p> <p>左腕の痛みの訴えあり、介助にて車椅子へ移乗、バイタル測定を実施しています。管理者と訪問看護師に報告・相談を行い、コロナール錠服用の指示あり、服用後は様子観察を行い、家族に状況説明を行っています。前日にコロナワクチン接種を行ったため、副反応の腕の痛みもあり、痛みのある場所の把握が難しい状況でしたが、痛みの訴えが続いたため、17日に滝川市立病院を受診しています。左上腕部骨折の診断で三角巾と固定バンド装着の指示あり、経過観察となっています。18日と25日にも同病院を受診し、骨のズレは無いとのことで経過観察を続け、2週間後と4週間後に再度、受診の予定となっています。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <p>当該入居者の居室には転倒防止のためセンサーを設置していましたが、他入居者の居室内でドアを閉めて介助を行っており、センサー音が聞こえないという状況でした。今後はどこにいてもセンサー音が聞こえるよう、センサーの親機を持ち歩き、すぐに対応出来るようにします。また、入居者の許可を得て、居室内で介助を行う際もドアを開けて介助を行ったり、センサー音を大きくする等の対応の工夫も行い、再発防止へ努めます。</p>
	葵	7/23(日) AM3:30 要介護5 女性	<p>&lt;状況&gt;</p> <p>他入居者のトイレ介助中、センサー音が鳴ったため居室を訪室すると右側を下にした状態で床に横になっているところを発見しました。痛みの有無を確認すると左腕を触り「ここが少し痛い」との痛みの訴えと「おしっこへ行きたい」と返答があり、トイレ誘導後、全身確認を行いました。その後、バイタル測定と家族に状況報告を行っています。歩行時は職員の両手引きで普段通り過ごされ、両手握力がしっかりあることも確認しています。訪問看護師の来訪時、全身確認を行ってもらい、変わりなく様子観察としています。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <p>トイレ介助を要する入居者が複数いるため、夜間の覚醒時、トイレの確認を行い、介助の重なりを減らす工夫を行っています。また、夜間帯は職員1人のため、入居者の対応の優先順位をしっかりと見極め、再発防止に努めます。</p>

		<p>葵</p>	<p>7/27(木) PM7:00 要介護 1 男性</p>	<p>&lt;状況&gt; 職員が他入居者のトイレ介助中に当該入居者が1人で外に出て行かれていました。18:40 からホールにて食器拭きをされた後、居室に戻られたのを職員が目視で確認しましたが、19:05 に外から当該入居者が1人で戻って来たところを藤ユニット主任が玄関で発見しました。葵ユニット職員は2人いましたが、外に出て行く姿を2人とも見ていませんでした。本人に転倒の有無を確認し、痛みの訴えや衣服に汚れ等も見られませんでした。入床前の脱衣時に全身観察を行い、傷や変色等が無いことを確認しています。</p> <p>&lt;対策&gt; 発生直前の18:25にも職員と外を歩いたばかりで当日は計3回、外を歩いていたため1人で外に出られるとは思わず、油断がありました。また、介助中の他入居者の歩行状態が悪く、対応に集中しすぎてしまい、ホールの見守りが疎かになっていました。当時、職員は2人いたため、ホールを離れる際は声掛けを行い、介助と見守りの分担をすることで防げたため、職員間の連携と見守りの意識を更に高めていきます。また、玄関にはセンサーがあり、玄関を出入りした際にはPHSが反応するようになっていますが、今回葵ユニットのPHSが反応する前に藤ユニット職員が玄関の確認を行わず、そのままPHSの反応を止めてしまい、入居者の玄関の出入りを職員全員が見過ごしてしまいました。PHSの反応は葵ユニットの方が遅く、センサーの位置も玄関の入口すぐの場所にあり、センサーが反応した時点で既に外に出て行ってしまっている可能性があるため、日頃から職員には玄関センサーの反応には注意するよう周知していましたが、再度事務所職員が退勤した後は、玄関の確認を徹底するよう周知を行いました。</p>
		<p>葵</p>	<p>7/30(日) AM4:00 要介護 2 女性</p>	<p>&lt;状況&gt; 他入居者をホールへ誘導中、当該入居者の居室のセンサー音が鳴った後に大声が聞こえ、誘導後すぐに居室へ向かうと居室前の廊下に歩行車が倒れ、左腕を下にしてうつぶせの状態で見つけました。左腕の痛みの訴えがあり、バイタル測定を実施。その後、様子観察を続け、居室で6:00まで入眠されていましたが、痛みのある箇所が増えており、訪問看護師に報告・相談を行ったところ、緊急搬送の指示あり、家族に状況報告と緊急搬送の同意をいただき、救急車要請後、家族付き添いで旭川赤十字病院に緊急搬送となりました。左上腕部・左骨盤骨折との診断あり、早期完治のため左上腕部は手術を選択されたとのことで術後、1~2週間入院した後、深川市立病院へ転院し、リハビリ開始となる予定です。</p>

			<p>&lt;対策&gt;          夜間帯は夜勤者1人しかいないため、複数人の対応が必要となった場合、優先順位をしっかりと見極めて対応していきます。また、介助中の入居者に同行していただき、介助が必要な入居者を同時に目の届くところで対応するという工夫も行っていきます。</p>
その他	7/26	第5回 防災会議実施	
	7/12	ノロウイルス発生時の対応について（実技訓練実施）	
	7/14	コロナワクチン接種	
	7月	ご家族様から野菜の寄付をいただきました	
	8月	ご家族様から野菜と果物の寄付をいただきました	
	8月	認知症普及・啓発事業への作品貸し出し	
次回開催予定	令和5年10月24日(火)午前10:30より グループホーム 優和の郷・信にて		
助言・要望	<p>【質問・感想など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>7/27 発生の無断外出の再発防止策について、センサー位置の変更や事務所職員が退勤後に玄関に鍵をかける等の物理的な対策はできないのか？</u></li> </ul> <p>⇒センサーに関しましては、玄関に設置されているセンサーは天井に取り付けられたものであり、位置変更は難しいため、ホール入口に置き型センサーを設置し、玄関に出て行く入居者の動きを検知するよう対応致しました。</p> <p>また、施錠に関しましては、拘束にあたるという観点から、基本的に夜間以外玄関の施錠は行っておりませんが、今回の事案発生に伴い、今後は自由な生活を守りつつ安全面にも配慮した対応と致しまして、事務所職員の退勤後と休日の職員の少ない時は、ご提案いただいた施錠を行うことと致しました。</p>		
他	次会議までの継続課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (無)</li> <li>・ 有</li> </ul>	